

産業

富士山の恵みを活かした産業振興と働きやすさの両立したまちづくり

富士山の恵みである豊かな資源を活かして、商工業、観光、農林水産業が発展した活力あるまちを創出していくとともに、誰もが働きやすい社会づくりを目指します。

政策1 労働・雇用

政策2 企業誘致・留置

政策3 商工業

政策4 観光

政策5 農林水産業

政策6 食



政策 1



労働・雇用

目指すまちの姿

多様な人材が、安心していきいきと働き続けています



● 基本方針

多様化する労働市場において、性別や年齢等を超え、様々な職種やスキルを持つ多様な人材が活躍できる就業の場の確保に努めます。また、全ての勤労者が安心して働けるように労働環境の改善に努め、働きやすいまちを目指します。

● 施策の内容

① 魅力的な就労環境の創出

- 中小企業の福利厚生充実を支援するとともに、融資制度等を通じて勤労者の安定的な生活を支援します。
- 市内企業におけるワーク・ライフ・バランス*を推進し、誰もが安心して働くことができる環境整備に努めます。
- 働きやすい環境の整備や労働条件の向上等、多様な人材が就業できる環境づくりのため、ハローワーク等の関係機関と連携し、就労支援の充実を図ります。

② 地域に根差した人材の確保

- 求職者が知りたい市内企業の情報や仕事に関する内容をウェブサイトにより集約・発信し、UIターン*希望者、経験者採用希望者等の就業を支援します。
- 企業ガイダンスや就職セミナー等を実施し、就業機会の拡大に努めます。
- 多様な人材の確保及び育成のため、企業情報の発信を促進し、採用力強化の支援に努めます。
- 将来の人材確保に向けて、若い年代から働くこと・地元企業を知ってもらうことを目的に、市内の小中学生や高校生に対し企業紹介を行うなど、地元で働くことに対する機運の醸成に努めます。
- 市内中小企業等の労働生産性の向上、副業人材の活用やジョブ型雇用*の導入など、人材確保のための支援に努めます。

貢献するSDGs 目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
勤労者福祉事業	勤労者のための住宅建設資金利子補給、生活融資、教育融資など
UIJターン者就業支援事業	企業情報等の発信、企業紹介ガイドブック、企業ガイダンス、キャリア教育支援、企業の採用力強化支援、人材確保支援など
富士山SDGs人材マッチング事業	人材マッチングサイトの運用など

● 関連計画

- 富士宮市工業振興ビジョン

用語説明

ジョブ型雇用

「職務内容」(ジョブ)を明確に定め、その職務に合った人材を採用・評価・処遇する雇用形態のこと。

ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、人生の各段階に応じて多様な生き方を選択・実現できること。

UIJターン

以下の頭文字をとった言葉のこと。

- Uターン：地方から進学や就職などで都市に移住した人が、再び生まれ育った地域に戻ることに。
- Iターン：都市部に生まれ育った人が、地方に住み働くことに。
- Jターン：進学や就職で地方から都市に移住した後、生まれ育った地域に近い地方都市に移住することに。

政策 2



企業誘致・留置

目指すまちの姿

人と地域を生かした豊かな産業が集積されています



● 基本方針

豊富な地域資源を有する本市ならではの多種・多様な産業基盤の構築・強化を図り、優良企業の誘致及び既存企業の留置に努め、まちのブランド力向上につながる特色ある産業の発展につなげます。また、成長性や持続性のある企業が立地しやすい環境を整備し、働き手にとって魅力ある企業立地の推進に努めます。

● 施策の内容

① 持続的発展に向けた産業基盤の強化

- 富士山の湧水や豊かな自然など、本市が有する豊富な地域資源と密接に関連したバランスの良い産業構造を目指します。
- 既存企業の事業規模の拡大や市外企業の新規進出の受け皿となる新たな産業用地の確保を推進します。
- 地域産業の持続的発展を支えるため、産業基盤とインフラを計画的に整備し、企業活動や物流の効率化を図ります。

② 戦略的な企業誘致・留置の推進

- 企業立地促進事業費補助金をはじめとする各種支援制度等を活用して、優良企業の誘致及び既存企業の留置を目指します。
- 首都圏等にあるIT企業や先進企業等の誘致により、多種・多様な働く場の創出につなげるとともに、進出企業と市内の既存企業の交流と連携を促し、新産業及び成長産業への参入支援を図ります。
- 関係支援機関等と連携し、既存産業の活性化と次世代産業の創出及びこれに伴う高度な人材の育成や確保を支援します。

貢献するSDGs 目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
企業立地推進事業	既存市域産業の活性化、サテライトオフィス* 設置促進等による先進企業の誘致、新たな工業 用地の確保、企業の誘致・留置など
中小企業総合支援事業	起業・創業・事業に関する総合相談窓口「ビジ ネスコネクトふじのみや*」、事業者訪問など

● 関連計画

- 富士宮市工業振興ビジョン

用語説明

サテライトオフィス

企業または団体の本拠から離れた所に設置された事務所等のこと。

ビジネスコネクトふじのみや

富士宮市・富士宮商工会議所・芝川商工会・富士宮信用金庫の4者連携による、事業者やこれから事業者になろうと思っ
ている人たちのための総合相談窓口のこと。

政策 3



商工業

目指すまちの姿

中小企業等事業者が地域経済の原動力となり、
まち全体が活力にみなぎっています



● 基本方針

地域経済を支える市内中小企業等事業者の生産性向上や経営力強化を支援するとともに、創業・起業を促進します。また、中心市街地の魅力向上及び商業・サービス業の活性化を推進します。

● 施策の内容

① 活力ある地域経済を支える産業の振興

- 富士宮市中小企業振興基本条例の基本理念に基づき、懇話会などを通じて市、企業、経済団体等の幅広い視点からの積極的な意見交換を行います。
- 富士山の豊かな緑や水資源など、特徴的な地域の強みを活かしたものづくり産業の振興や社会課題解決を推進します。
- 地域の既存産業の持続的発展を図るため、企業間の連携や企業の広報活動を支援します。

② 中小企業等事業者の生産性向上・経営力の強化

- 事業者訪問や関係機関との連携等により、市内事業者の実態やニーズを把握し、情報提供をはじめとする事業活動への支援を積極的に行います。
- 起業・創業に関する相談会、個別相談、セミナー等を実施します。
- 経営、財務、販路開拓、人材育成、新事業進出、事業承継等、事業者の抱える様々な課題の解決に向けて伴走型支援を行い、経営の安定化、生産性の向上等を図ります。

貢献するSDGs 目標



3 まちのにぎわいづくりの推進

- 商店街の活性化を図るための企画やイベント等への支援を行い、まちなかのにぎわい創出を図ります。
- 中心市街地の魅力創出を図るため、関係団体等と連携し、まちなかにおける商業・サービス業の実態やニーズを把握するとともに、出店する事業者等を支援し、リノベーションまちづくりを推進します。

主要な事業

事業名	事業の主な内容
中小企業総合支援事業	起業・創業・事業に関する総合相談窓口「ビジネスコネクトふじのみや*」、事業者訪問など
中小企業対策事業	利子補給など
中小企業振興事業	中小企業振興懇話会、実態調査など
商工業振興事業	商店街イベント、空き店舗出店者等に対する助成、実態調査など

● 関連計画

- 富士宮市工業振興ビジョン
- 富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想

用語説明

ビジネスコネクトふじのみや

富士宮市・富士宮商工会議所・芝川商工会・富士宮信用金庫の4者連携による、事業者やこれから事業者になろうと思っている人たちのための総合相談窓口のこと。

政策 4



観光

目指すまちの姿

観光資源の魅力を認知し、自信と誇りを持って
市外の人におすすめできるまちになっています



● 基本方針

富士山をはじめとする食や自然、歴史・文化、スポット、イベントなど、本市ならではの観光資源の魅力や認知度を高め、国内外からの観光客の誘客を図ります。また、観光客の滞在時間を延ばすことにより、消費を促進し、経済の活性化につなげます。

● 施策の内容

① 観光ブランディング*戦略の構築

- 観光資源の魅力や特徴をもとに、観光のまちとしてのターゲット層や明確なブランドコンセプトを設定します。
- 統一的なブランドイメージやブランドメッセージを長期継続的に広く一貫して活用し、定着させることにより、国内外からの認知度を高めます。

② 観光マーケティング*の推進と観光プロモーションの強化

- 効果的なプロモーションを行うため、国内の観光客はもとより、外国人観光客についてのニーズや動向を調査・分析します。
- 観光資源の創出や掘り起こし、結び付け、磨き上げを行い、観光客の新規来訪・再来訪の動機付けを促進します。
- まちなか周辺や朝霧高原、白糸地区、芝川地区の各エリア間の回遊を促進し、オーバーツーリズム*への対策や経済の活性化につなげます。
- ターゲットに合わせた効果的な情報発信を行うことで、国内の観光客はもとより、外国人観光客に対しても誘客を図ります。
- 観光資源に対する市民の認知度と愛着度を高め、市外在住者に対して富士宮をおすすめする人を増やします。
- 地域に根差したまつり等を実施し、活気やにぎわいを創出します。

貢献するSDGs 目標



3 受入態勢の整備による誘客の促進

- ホテル誘致や施設整備などを通じて、観光客がゆっくりと安心して滞在できる環境づくりに取り組みます。
- 観光拠点や富士宮口登山道などに関連する施設の充実を図ります。

主要な事業

事業名	事業の主な内容
観光振興事業	観光客等のニーズや動向の調査・分析、ブランドコンセプトの定着、効果的な情報発信による国内外からの認知度の向上
観光拠点・施設整備事業	観光拠点や富士山関連施設等の充実や整備の実施、観光客がゆっくりと安心して滞在できる環境づくり
宿泊施設等誘致事業	ホテル誘致等の推進

● 関連計画

- 富士宮市観光基本計画
- 富士宮市自転車活用推進計画
- 富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想

用語説明

オーバーツーリズム

旅行者が集中する一部の地域や時間帯等において、過度の混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度低下への懸念が生じる現象のこと。

観光ブランディング

地域が持つ独自の魅力や資源の認知度を向上させ、その価値を長期的に高めるための戦略。

観光マーケティング

地域に初めて訪れる人や繰り返し訪問する人（＝リピーター）などの交流人口、ひいては地域のファン（＝関係人口）を増やし、地域の経済効果や住民満足度を向上させる好循環を構築するための仕組みづくり。

政策 5



農林水産業

目指すまちの姿

富士山の恵みを活かした農林水産業が営まれています



● 基本方針

地域の特性と資源を最大限に活用した農林水産業の持続的な発展に向け、担い手の育成や先進技術の導入を推進します。また、農林水産業の収益性の向上を目指すとともに、生産基盤の整備に努め、農林水産業の振興を図ります。

● 施策の内容

① 生産基盤の整備促進

- 農地中間管理事業を活用するとともに農地や農業水利施設などの基盤整備を推進し、農地の集積・集約化を進めます。
- 優良農地の整備や保全に努めるとともに、遊休農地の解消を図ります。
- 畜産物の競争力を高めるため、飼料増産など収益性の向上に取り組み、生産基盤の強化を図ります。
- 養鱒業の生産基盤の安定を図ります。
- 森林環境譲与税*を活用し、民有林の森林整備を推進します。
- 森林の適正管理と持続的な木材生産を促進するため、基盤整備を推進します。

② 安定経営のための支援の強化

- 担い手や農業生産組織などの確保・育成に向けて、新規就農者等の研修受入農家の確保に努めます。
- 経営基盤の強化を図り、農業者の収益性の向上と農作業の労力省力化・効率化に向けた経営の効率化を進めます。
- 地域特性を活かした有機農業の拡大を図ります。
- 有害鳥獣による農林水産物の被害を防止するため、鳥獣被害防止対策を推進します。
- 林業関係者と連携・協力し、林業の収益性の向上や木材利用の拡大を推進します。
- 森林環境譲与税を活用し、将来を担う人材の育成を推進します。

貢献するSDGs 目標



3 農林水産業資源の保全と活用

- 地域において農地の保全につながる農村コミュニティ活動を支援します。
- 適切な家畜ふん尿の処理を行い、畜産堆肥の利用を促進します。
- 市の魚「ニジマス」の独自の価値を発信し、消費拡大を推進します。
- J-クレジット制度*を活用して、市有林の適切な管理を継続的に行います。
- 森林環境譲与税を活用し、森林・林業の普及啓発事業を促進します。

主要な事業

事業名	事業の主な内容
農業振興事業	遊休農地の再生費用に対する助成、農業の効率化・省力化を図る機械の活用や購入に対する補助など
用排水路等維持改良事業	かんがい用排水路等の維持・改良など
畜産競争力強化対策整備事業	畜産農家の機械化・効率化を推進することによる経営安定のための支援
森林環境整備事業	森林の整備や林業の振興等に関する事業

● 関連計画

- 富士宮市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 富士宮市地域計画
- 富士宮市農業振興地域整備計画
- 富士宮市有機農業実施計画
- 富士宮市森林整備計画
- 富士宮市森林環境整備方針
- 富士宮市鳥獣被害防止計画

用語説明

森林環境譲与税

森林の適切な整備や保全を進めるために、国が都道府県や市町村に配分（譲与）する目的税のこと。

J-クレジット制度

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素等の排出削減量や適切な森林管理による二酸化炭素の吸収量を国が「クレジット」として認証する制度のこと。

政策 6



食

目指すまちの姿

富士山の豊かな水に育まれた食を、
誰もが楽しめるまちになっています



● 基本方針

富士山麓の豊富な湧水と広大な自然環境に育まれて生産される、おいしく、安全で特色ある食材を市内外に広め、消費の拡大を目指すとともに、地食健身*を推進します。また、農林水産業だけでなく観光、商業等との連携を図り、ブランド力の向上に努めます。

● 施策の内容

① 食のネットワーク化による経済の活性化

- 富士山などの魅力ある観光と豊かな食の連携により、誘客につなげます。
- 富士山の恵みである水をはじめとした豊富な食資源を生かした付加価値の高い特産品の製作することにより、販路の拡大を目指します。
- 食を通じた民・産・学・官のネットワーク化を進め、協働していくことにより、食関連産業にとどまらない地域全体の経済活性化を目指します。
- 地場産品や特産品にストーリー性や付加価値を付けた情報発信をすることで、ブランド力の向上を図ります。

② 「地食健身」の推進によるシビックプライド*の醸成

- 生産者の想いを知るための地場産品を活用した講座等を行い、地元食材への理解と地産地消を進めます。
- 地場産品を使用した家庭料理の普及・定着を図ることにより、食文化を次世代へ引継ぎ、食を大切に作る心を育みます。
- 環境に配慮した栽培や生産方法を推進し、食の安全性の向上、確立を図ります。

貢献するSDGs 目標



主要な事業

事業名	事業の主な内容
食のまちづくり推進事業	フードバレー構想の基本コンセプト、基本方針に基づく、食の情報発信、食のブランド化の推進、食育*の推進など

● 関連計画

- 富士宮市食育推進計画

用語説明

シビックプライド

市に対する市民の誇りのこと。まちを構成する一員であるという意識を持ってまちを愛する心。

食育

様々な経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

地食健身

その土地で採れたものを食べ、心身ともに健やかになること。

基本目標 5

「産業」の達成状況を測るための指標

客観指標

指 標	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
製造品出荷額等	7,927億円 (令和4年)	1兆円
製造業の従業員数	20,445人 (令和5年度)	21,000人
1人あたり平均観光消費額（宿泊費を除く）	4,000円	4,500円
第1次産業総生産額	113億円 (令和4年度)	122億円
森林間伐実施面積	5,269ha	7,826ha

主観指標

指 標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市には、働きやすい職場環境が整っている	3.0	3.4
富士宮市は、やりたい仕事を見つけやすいと思う	2.7	3.1
富士宮市には、新たなことに挑戦・成長するための機会がある	2.8	3.2
富士宮市への観光を市外在住者に勧めたいと思う	3.6	3.9

※主観指標は、1～5段階評価で実施した市民アンケート調査の平均値を示しています。具体的には「非常にあてはまる」を5点、「全くあてはまらない」を1点として、それぞれの点数に百分率を乗じて指数化し、その合計を平均値としています。